

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成25年度第2回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成25年9月24日(火) 午後3時から午後5時まで  
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 (私学会館)  
III. 参加者：木村委員長、廣野副委員長、久保田副委員長、遠藤委員、志田委員、深谷委員、  
青山委員、吉田清委員、大竹委員、毛利委員、齋藤委員、吉田浩委員、正木委員、  
柿本委員  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本 (記)

IV. 検討事項

1. 基礎講習コースの報告

- ・ 121名、61校からの参加があり、学事が3割、情報が2割の比率で3年以下が7割のことから新たに大学に入職された方の参加が多かった。
- ・ 全体会、イントロダクション、情報提供からグループで気づきを出して全体討議で質疑を行い、その中では、科学的データを教員に提示し、必要性の理解を求めることが職員の役割一つとの説明もされた。
- ・ グループ討議では、話したい内容に引っ張られた、進行は上手くいった、テーマ選定に時間を要したなど意見がわかれ、進め方へ委員の介入の仕方は継続課題となった。
- ・ 討議結果からは、問題を発見して解決することの日常では得られない体験ができた、ツールの使い方ではなく教育改革を進めることへの議論に修正した、学生の主体性を伸ばす視点を得られたなどの意見があった。また、クールな世代の感じを抱いていたが熱意ある参加者もあった。全体を通して議論を深めることは十分ではなかったこともあるが活発ではあった。

2. 応用コースの検討

- ・ 10月上旬に開催要項を大学に発送するスケジュールを考える。
- ・ 今回は情報収集型として3つの分科会を設け、早稲田大学で開催することにした。
- ・ 獲得目標として大学教育改革に関する社会的動向と今大学が取り組むべき課題への理解を深める。探求的討議を通じて自大学での課題解決に役立つ情報を収集すること。

(1) 27年度からの実施についての検討

- ・ 今後の継続検討として、2日間の開催に向けた進め方を考える。委員でチーム分けし、チーム別に検討、テーマ研究を進めること。方針を検討し、アンケートで意見を募るなど。26年は1日開催で27年からの開催を検討することで、委員から以下の意見があがった。
- ・ 情報収集型では事例が重要になり、価値創造型では委員の研修運営の仕方がポイントになる。また、実践型はPCなどの設備の課題があげられる。
- ・ 事例紹介が困難なテーマがあるのではないか。
- ・ グループ討議はグループとして一つの意見にまとめることが難しいとの意見があった。
- ・ 参加者を出すにあたって、応用コースは範囲が広いので人事として人選に困っている。
- ・ テーマを考えることが重要ではないか、テーマを絞ることはどうか。
- ・ 例えばタブレットの活用など、実際にどういうものが望まれているか必要。
- ・ 情報収集型より価値創造型の方が面白いのか。
- ・ 10年先を見据えて見えてないものを提示してはどうか。

(2) 25年度の開催について

- ・ 開催要項の確定に向けて前書き部分はメールで確認をすることにした。
- ・ 3つの分科会にして、それぞれタイトル、進行方法、事例紹介などを分科会単位で検討することにした。(委員会終了後に別室で検討し、後日メールなどで開催要項を確定させた)

V. 今後の対応

- ・ 11/15に応用コースを開催し、次回委員会はメールで調整を行う。